

2025年11月4日

Honda の英国現地法人であるホンダモーターヨーロッパ・リミテッド（本社：バークシャー州ブラックネル 社長：奥田 克久）は、現地時間 2025 年 11 月 4 日（火）9：00 に以下を発表しましたので、その内容をご案内いたします。

＜EICMA 2025＞ 電子制御過給機付き新型 V 型 3 気筒エンジン搭載 「V3R 900 E-Compressor Prototype」を初公開

Honda は、電子制御過給機付き V 型 3 気筒エンジンを搭載したプロトタイプモデル「V3R 900 E-Compressor Prototype（ブイスリーアール ナインハンドレッド イー コンプレッサー プロトタイプ）」を、イタリア・ミラノで開催されている EICMA 2025（ミラノショー、プレスデー：11月4日～5日、一般公開：11月6日～9日）にて初公開しました。



V3R 900 E-Compressor Prototype

V3R 900 E-Compressor Prototype は Honda が 2030 年ビジョンで掲げる「自由で楽しい移動の喜びの提供」を実現するため、お客様の期待を超える魅力的な商品をお届けすることを目標に掲げ、今までにない Honda 独自の技術で新たな価値を提案するモデルとして開発を進めています。

開発コンセプトは「Non-Rail ROLLER COASTER（ノンレール ローラー コースター）」とし、最新の技術と Honda が長年蓄積してきた二輪車開発のノウハウを結集し「約束された高揚感」と「卓越した安心感」という異なる二面性を併せ持つモデルを目指しています。

エンジンは、昨年 EICMA 2024 で世界初公開した水冷 75 度 V 型 3 気筒エンジンをそのままに、排気量を 900cc とし、スリム & コンパクトを追求。二輪車として世界初※の電子制御過給機の採用により、エンジンへの過給を任意にコントロールすることで、低回転からハイ・レスポンスなトルクを実現。これにより、900cc の排気量でありながら 1200cc 相当のパフォーマンスを実現し、環境性能にも貢献する仕様を目標としています。

ボディには左右非対称のサイドカウルを持ち、タンクのエンブレムには、2026 年以降最上位モデルに順次採用を予定している、新デザインの「Honda Flagship WING（ホンダ フラッグシップ ウィング）」を採用しています。

V3R 900 E-Compressor Prototype は、チャレンジをし続ける Honda の新たなマイルストーンとして、これまでにない二輪車を操る楽しさ、感動、所有する喜びを体感いただくことを目指し、量産に向けて、引き続き開発を行っていきます。